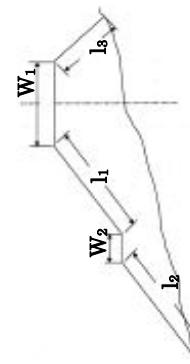
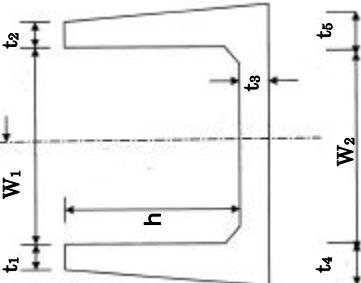
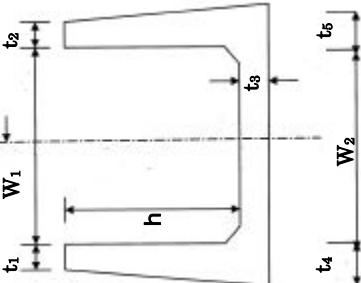


出来形管理基準及び規格値 第24編 ため池編

：出来形管理図表を作成する。
：設計図等を使用し設計寸法と比

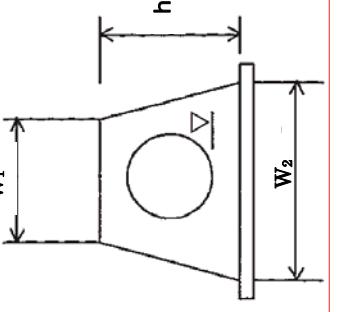
单位：mm

概要	測定基準	測定箇所	出来形測定
<p>1. 施工延長20mにつき1箇所の割合で測定。</p> <p>2. 一施工単位 2箇所以上測定。</p>	<p>1. 鋼土の幅は、盛土高1m毎に管理する。</p> <p>2. 測定は原則として水平距離とするが、法長の場合は斜距離とする。</p> <p>3. 出来形測定と写真是同一箇所で行う。</p> <p>4. 出来形図は、横断面図を利用して作成する。</p>		<p>スパン長の標準を9mとした場合</p>
<p>1. 施工延長1スパンにつき1箇所測定。</p> <p>2. 箇所単位のものについては適宜構造図の寸法表示箇所を測定</p>			

出来形管理基準及び規格値 第24編 ため池編

：出来形管理図表を作成する。
：設計図等を使用し設計寸法と比

单位：mm

測定基準	測定箇所	摘要
<p>1. 施工延長10mにつき1箇所測定。</p> <p>2. ジョイント間隔については、1本毎に測定。</p> <p>3. 箇所単位のものについては、適宜構造図の寸法表示箇所を測定する。</p>		<p>1. 基準高は管底を原則とする。</p> <p>2. コンクリート二次製品の場合で、底槽がトンネルの場合、別途ある。</p> <p>3. 底槽がトンネルの場合は、別途定めるこ^ト。</p> <p>4. 斜槽等付帶構造物の、基準高は、取水孔(ゲート中心)の標高とし、高さは斜面直角方向とする。</p>